

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価
 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
1	感染拡大防止事業	館林地域外来・検査センター(PCR検査センター)の設置を支援する。	R2.5.13 ～ R3.3.31	2,734,000	2,734,000	①	令和2年5月～令和3年3月(136日開設)の期間開設を支援し、感染拡大防止に寄与することができた。
2	高齢者施設のクラスター防止事業	重症化リスクの高い高齢者が多く入居する高齢者施設でのクラスター発生を防ぐため、感染予防対策チェックシートと非接触体温計を配布し、感染予防を図る。	R2.5.7 ～ R2.6.19	808,500	808,500	①	90か所の居住系高齢者施設に対し感染予防対策チェックシートと非接触体温計(合計105個)を配布し、施設クラスターの発生防止に寄与することができた。
3	館林駅東口懸垂幕設置事業	館林駅東口の駅前観光案内所に、感染症対策啓発用の懸垂幕を設置する。	R2.4.14 ～ R2.4.30	88,000	88,000	②	館林駅東口の駅前観光案内所に懸垂幕を設置し、啓発することで感染拡大防止に寄与することができた。
4	感染予防対策事業	サージカルマスク、防護服及び消毒液等を購入し、医療機関、高齢者福祉施設、小中学校等へ配布することで感染症を予防する。	R2.4.2 ～ R3.3.31	20,027,726	20,027,726	①	マスク202,000枚、防護服600セット、消毒液228本等を購入し、医療機関、高齢者福祉施設、小中学校等へ配布し、感染拡大防止に寄与することができた。
5	避難所の感染予防用品及び食糧の備蓄	災害発生時に避難者の感染を予防するため、避難所に間仕切りダンボール、非接触型体温計、マスク、フェイスシールドなどを備蓄し、安心して避難できる環境を整える。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時に災害が発生した場合は、都市封鎖などで流通が停止することが想定されるため、長期の保存が可能なアルファ化米を備蓄することで、災害急性期の混乱を回避すると同時に避難生活の長期化に備え、新型コロナウイルス感染症等に対応した新たな災害対応スタイルを構築する。	R2.5.13 ～ R3.2.24	13,759,240	13,759,240	②	避難所の感染対策に必要な基本的な物品(間仕切りダンボール2,000枚、非接触型体温計100台、マスク72,000枚、ワンタッチパーテーション20張、仕切用テント70張、フェイスシールド1,000枚等)や、備蓄食料等(アルファ化米19,200食)を購入し、コロナ禍における災害時でも安心な避難所を整える準備が出来た。
6	商業金融対策事業(経営安定資金保証料補助、経営安定資金利子補給)	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した小中企業者に対し、経営安定資金の保証料補助と利子補給を行う。	R2.4.1 ～ R3.3.31	38,997,636	38,997,636	①	77件の保証料補助と208件の利子補給を実施し、事業の継続に寄与した。
7	商業金融対策事業(経営安定資金返済猶予制度)	経営安定資金を利用しているかたで、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に返済困難になったかたに対し、返済猶予期間中(最大6か月)の利息を市が負担する。	R2.4.1 ～ R2.11.30	48,777	48,777	①	2件の制度利用があり、事業の継続に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価
 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
8	小規模事業者支援対策事業	国の持続化給付金の対象にならない、新型コロナウイルスの影響を受けた市内小規模事業者を支援(給付金の支給)する。	R2.5.14 ～ R2.10.9	42,462,935	42,462,935	①	420件の小規模事業者へ10万円を給付し、事業の継続に寄与した。
9	ワンストップサービス窓口設置事業	新型コロナウイルス感染症対策における国、県、市での各種支援制度の相談窓口を1か所に集中し設置することで、事業者へ対する利便性を向上させる。	R2.5.7 ～ R2.6.26	1,617,000	1,617,000	①	令和2年5月～令和2年6月まで設置し、270件の相談を受け、事業者の事業継続に寄与した。
10	事業者支援対策事業	国の雇用調整助成金の申請手続きに対する無料相談会を実施する。	R2.5.20 ～ R2.6.19	200,000	200,000	①	令和2年5月～令和2年6月まで相談会を実施し、4件の相談を受け、事業者の事業継続に寄与した。
11	農業従事者支援対策事業	農業者自身が新型コロナウイルスに感染したことによる休業や感染拡大に伴う農作物価格の下落等のリスクに対応するため、農業収入保険の保険料の一部を助成する。	R2.6.8 ～ R3.3.16	2,990,971	2,990,971	①	災害・農産物価格の下落等のリスクに備える収入保険への加入61件を支援し、農業経営安定を図った。
12	まちの元気な店舗PR事業	新型コロナウイルスの影響で減少した売り上げの回復を支援するため、市内商業者が無料でケーブルテレビにおいて宣伝ができるように委託を実施する。	R2.6.23 ～ R2.11.6	1,003,000	1,003,000	①	感染症対策を実施している飲食店60件をケーブルテレビで消費者へ紹介し、事業の継続に寄与した。
13	つつじが岡公園閉園協力金給付事業	本市最大の観光名所「つつじが岡公園」の閉園に協力いただいた園内事業者及び公園周辺の土産物店に対し、協力金を給付し支援する。	R2.7.10 ～ R2.9.8	550,000	550,000	①	閉園に協力いただいた11件の事業者の事業の継続に寄与した。
14	学力向上対策事業	学校臨時休業の長期化に伴い、家庭学習の支援を目的に、「スタディサプリ」を用いたオンライン学習を導入する。	R2.5.15 ～ R3.3.31	25,639,416	25,639,416	①	小学4年生～中学3年生3,924人を対象に、コロナ禍における児童生徒の家庭学習支援に寄与することができた。
15	学力向上対策事業	児童生徒が、オンライン学習の導入に伴いタブレットなどの通信機器を購入する費用を補助する。	R2.5.15 ～ R3.1.31	5,645,000	5,645,000	②	「スタディサプリ」用の機器購入をした597人に対し、令和2年5月末～令和3年1月末の期間中、費用の1/2・上限10千円を補助しコロナ禍での学習支援に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価

①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
16	給食停止に伴う就学奨励(援助)事業	臨時休業期間中における、準用保護世帯の児童生徒の昼食費を援助するため、「お米券」及び「館林市金券」を配布する。	R2.5.15 ～ R2.7.27	3,491,484	3,354,484	①	小中学校準要保護児童生徒348人に対し「お米券」及び「館林市金券」を配付し、学校休業期間中の生活支援に繋げることができた。
17	給食停止に伴う家庭への食費支援・食育応援事業	幼稚園・小中学校の臨時休業及び保育園・認定こども園の登園自粛による、家庭における負担を食事の面から支援するため、児童生徒及び園児一人につきお米を購入することができるお米券10枚を配布する。	R2.5.14 ～ R2.6.29	38,342,897	38,342,897	①	長期休校・休園に伴う給食停止の中、主食であるお米券を配付することにより、保護者への経済的な負担軽減及び児童生徒園児の食育に寄与することができた。
18	学童保育スタッフ応援事業	小学校の休校に伴い負担が増している放課後児童支援員、補助員を支援する。	R2.5.22 ～ R3.3.9	839,968	839,968	②	館林市金券1万円分を支給し、負担が増している学童スタッフ合計101人を支援した。
19	障がい者施設感染症対策支援事業	障がい者が安心して利用できるよう、市内の地域活動支援センターや日中一時支援事業所に対し、感染症対策にかかる経費を支援する。	R2.4.1 ～ R3.3.26	303,638	77,638	②	地域活動支援センターと日中一時支援事業所に感染症対策として消毒などに必要ななかり増し経費を支援し、事業継続に寄与した。
20	70歳以上のひとり暮らし高齢者の感染予防支援事業	70歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、感染予防に役立つ物品を配布する。	R2.7.13 ～ R2.7.28	3,022,080	3,022,080	②	70歳以上のひとり暮らし高齢者2,078人に対しマスク・除菌ウェットティッシュ・タオルを配布し、感染拡大防止に寄与することができた。
21	社会教育施設の利用者のための感染症対策事業	公民館や文化施設、体育施設、図書館、向井千秋記念子ども科学館などの社会教育施設における感染防止のため、手指消毒液や施設の消毒用アルコールなどを常備し、市民が安心して利用できる環境を整える。	R2.6.22 ～ R3.3.31	9,789,265	9,789,265	①	消毒液や非接触型体温計、サーマルカメラなどを購入し利用者の感染拡大防止に寄与することができた。
22	公立館林厚生病院事業会計繰出・補助	当病院の職員が令和2年3月24日に新型コロナウイルス感染症に感染したため、診療を一時休止し、感染防止対策を行ったことに要する経費を支援する。	R2.10.27 ～ R2.11.27	34,500,000	34,500,000	①	公立館林厚生病院の医療提供体制を維持するため、診療休止期間に生じた減収に対して1市5町で支援を行った。
23	各行政区への感染症対策事業	多くの地域住民が利用する各行政区の集会施設や行政区が実施する行事における感染を予防するため、非接触体温計や消毒液、ハンドソープなどを各行政区に配付する。	R2.7.22 ～ R2.11.27	3,391,215	3,391,215	②	マスク25,000枚、消毒液252本等を購入し、各行政区へ配布することで、地区活動の継続に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価
 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
24	ひとり親家庭子育て応援フードバンク活動支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減るなど厳しい状況にあるひとり親世帯の生活を支援するため、NPO法人などと連携してフードパントリー（食品を無料で受け取れる場所）を設置し、フードドライブ（食品寄附回収）及びフードバンク（食品無料配布）の活動を支援する。	R2.8.1 ～ R3.3.26	479,981	479,981	②	令和2年8月より毎月第一日曜日に開催し、50世帯×8回=延400世帯へ提供することができた。
25	65歳以上高齢者へのお米券の配付事業	65歳以上高齢者への生活支援として、一人につきお米券5枚を配付する。	R2.7.13 ～ R3.1.18	63,693,621	63,693,621	②	高齢者22,575人に対し5枚ずつ（2,200円分・お米5kg相当）お米券を配布し、コロナ禍の影響で生活に困難をきたす高齢者を支援することができた。
26	外国人の心配事や悩み事相談事業	タブレット端末を導入し、館林市と群馬県の「ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター」をオンラインでつなげ、遠隔地にいる相談員と直接接することなく相談できる体制を整えることで、新型コロナウイルス感染症を予防する。	R2.8.3 ～ R3.3.31	136,863	136,863	②	令和2年8月から、タブレットを活用し多言語での外国人相談対応のための体制を整えることができた。
27	市内飲食店等営業支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染予防と拡大防止を図るため、市内飲食店に手指消毒液を配付する。	R2.6.15 ～ R2.7.20	5,039,254	5,039,254	①	手指消毒液を443件の飲食店等に無料配布し、配付をタクシー協会に委託することで複数業種の事業の継続に寄与した。
28	新型コロナウイルス感染症対策整備補助事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るために、新たに設備・備品等を導入した中小企業者や個人事業主へ、導入経費の3分の2に相当する額（上限30万円）を支援する。	R2.7.15 ～ R3.3.31	2,167,000	2,167,000	①	持続化補助金の不採択となった8事業者に補助し、事業の継続に寄与した。
29	里沼ピクニック環境整備事業	公園に木製ガーデンテーブルの整備を行い、広い公共空間での余暇活動等の推進を図ることで、3密を回避し、新しい生活様式への移行に努める。また、主要な公園のトイレの手洗いを自動化することで、感染拡大を防止する。	R2.8.12 ～ R3.3.22	6,666,000	6,666,000	②	蛇口の自動化により接触機会を減らし、ガーデンテーブルの設置によりソーシャルディスタンスの確保に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価
 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
30	市役所におけるオンライン会議の導入	市役所内にオンライン会議ができるタブレット端末を整備し、県や他市町村、民間事業者とのオンライン会議において活用する。従来の一か所に集まる会議から、オンラインでの会議に移行を推進することで、人と人との物理的な接触を減らし、新型コロナウイルスの感染防止に寄与する。	R2.9.29 ～ R3.3.31	1,001,225	1,001,225	②	9月29日から3月31日まで主催によるオンライン会議を53回実施し、直接会うことなく通話や資料の送受信をリアルタイムで実施可能になったため、感染拡大防止に寄与した。
31	文化会館カルピス®ホール会場使用料等の補助	コロナ禍の影響により文化会館カルピス®ホールの座席の利用を50%減らして利用しなければならないため、会場使用料及び付属設備使用料の半額を補助し、文化芸術関係者を支援する。	R2.7.1 ～ R3.3.29	130,000	130,000	②	会場使用料及び付属設備使用料の半額を補助(上限13万円)することで、文化芸術関係者の支援と本市の芸術文化活動の振興を図ることができた。
32	要保護・準要保護世帯の児童生徒へのタブレット端末貸与事業	新型コロナウイルスによる学校臨時休業の長期化にともない、家庭の学習支援を目的にオンライン学習を導入したが、家庭のインターネット環境が不十分な児童生徒もいるため、対象となるすべての児童生徒が効果的かつ公平に学習できるように、要保護・準要保護世帯の児童生徒にタブレットを貸与する。	R2.7.15 ～ R3.3.31	6,655,754	6,655,754	②	「スタディサプリ」に取り組む要保護・準要保護児童生徒320人を対象にLTE対応タブレットを貸与し、コロナ禍の中児童生徒の学力向上及び学びの保障に繋げることができた。
33	感染症対策のためのマスク等購入支援事業	学校における新型コロナウイルス感染防止のため、児童生徒や教職員用のマスク、手指消毒液や施設内備品の消毒用アルコールなどを常備する。	R2.4.1 ～ R3.3.31	33,358,921	21,373,921	①	マスクや消毒液等の消耗品を購入できたことにより、学校の感染拡大防止に寄与することができた。
34	GIGAスクール構想推進事業	小中学校の児童生徒1人1台のコンピュータ端末と、学校内に高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、コロナ禍に対応した遠隔・オンライン教育を実施できるとともに、個々の子どもに応じた効果的な学びや、教科横断的な学習を通じた創造性を育む教育ICT環境を整備する。	R2.10.1 ～ R3.3.19	209,018,315	36,951,315	①	端末4,465台の整備によりGIGAスクールへの対応ができ、休校時の備えについての対応もできた。
35	学校給食事業者支援事業	学校臨時休業が4月、5月と延長され、給食事業者へ大きな影響が生じているため、安定的な給食運営のための支援を行う。	R2.7.10 ～ R2.9.17	5,129,000	5,129,000	①	9件の学校給食食材納入事業者へ支援金を給付し、事業の継続に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価
 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
36	オンラインフリースクール運営事業	コロナ禍の中で不安を抱く子どもや家庭を支援し、不登校状態の子どもへの学習機会の確保のため、オンラインで児童生徒が集まれる場を提供する。	R2.9.7 ～ R3.3.22	300,300	300,300	①	令和2年9月～令和3年3月までの期間中、不登校の子ども等にオンラインでの居場所づくりを行い、感染流行の中延べ322人の学習機会の確保に資することができた。
37	公民館利用者のための感染症対策	公民館における感染防止のため、フェイスシールド等の感染予防品を常備するとともに、トイレの洗面台及び男子小便器を自動水栓化する。また、オンラインで事業を開催できるようWi-Fi環境整備やタブレットを購入する。公民館全11館で実施。	R2.9.28 ～ R3.3.31	16,773,713	16,773,713	①	消毒液の購入や洗面所の自動水栓化など利用者の感染拡大防止に寄与するとともに、全館にWi-Fiアクセスポイントを設置しwithコロナ期でのオンライン講座・研修に対応できる土台を構築できた。
38	図書館利用者のための感染症対策	図書館における感染防止のため、館内及び中庭にカウンターテーブル及び椅子等を設置し密を回避する。また、インターネットを活用した調べ学習やオンライン学習ができるようWi-Fi環境を整備する。	R2.10.17 ～ R2.12.14	1,266,100	1,266,100	①	図書館内にWi-Fi環境が整い、感染拡大防止対策をしながら学習する環境が整った。
39	感染予防対策事業(市有施設整備)	感染拡大防止のため、庁舎及び市有施設に飛沫防止パーテーションを設置するとともに、庁舎及び文化会館等にサーマルカメラを設置する。	R2.9.25 ～ R3.2.1	3,616,305	3,616,305	①	飛沫防止パーテーション339枚を作製し、窓口(カウンター)に設置するとともに、庁舎及び文化会館等の入口用として、サーマルカメラを購入し、設置することで感染拡大防止に寄与することができた。
40	感染予防対策事業(マスク自動販売機)	来庁者がマスクを忘れた場合や、市販のマスクが品薄となった場合に、市役所でマスクが購入ができるよう、マスクの自販機を導入する。	R2.11.27 ～ R3.3.31	128,810	128,810	②	マスクを忘れた来庁者が購入することができよかつた旨の意見をいただいております、感染拡大防止に寄与することができた。
41	公園競技施設の利用者のための感染症対策	体育館、陸上競技場、野球場、庭球場等の公園競技施設における感染防止のため、手指消毒液、施設消毒用薬剤等を常備するとともに、大型扇風機の設置、手洗器を自動水栓化するなど利用者が安心して利用できる環境を整備する。	R2.10.1 ～ R3.3.31	4,990,796	4,990,796	②	消毒用薬剤、自動検温機の購入のほか、手洗自動水栓をトイレ内に設置し、感染拡大防止に寄与することができた。
42	ダノン城沼アリーナ及び市民体育館における感染症対策	ダノン城沼アリーナ及び市民体育館の消毒、清掃業務を専門業者へ委託し、利用者の感染リスクの低減を図る。	R2.10.1 ～ R3.3.31	2,398,000	2,398,000	②	専門業者によるこまめな清掃及び消毒を実施し、感染拡大防止に寄与することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価
 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
43	つつじが岡公園環境整備事業	感染リスクの低減対策として、公園内トイレの自動水栓化を実施する。	R2.10.26 ～ R3.1.29	1,958,000	1,958,000	①	園内4箇所(自動手洗25・小便器4)のトイレの自動水栓改修工事を行い、感染拡大防止に寄与した。
44	障がい者施設感染症対策支援事業	感染症緊急包括支援交付金による慰労金の対象外となる在宅重度心身障がい者等デイサービス事業に従事する職員に対し慰労金を支給する。	R2.11.2 ～ R2.11.25	250,000	250,000	②	慰労金5万円を支給し、負担が増している在宅重度心身障がい者等デイサービス事業に従事する職員を支援した。
45	ごみ収集処理に係る衛生確保事業	感染者の呼吸器系分泌物(鼻水、痰等)が付着する恐れのある飲料容器(かん、びん、ペットボトル)の収集コンテナを十分に洗浄するための施設を整備する。	R2.10.15 ～ R3.3.19	11,770,000	11,770,000	②	収集コンテナの十分な洗浄により、感染拡大防止とごみ収集処理の事業継続に寄与することができた。
46	感染予防対策事業(ハンドソープ配布)	感染症の予防啓発のため、ハンドソープを配布する。	R2.9.16 ～ R2.11.13	1,221,546	1,221,546	②	公民館・駅などで手洗い啓発ののぼりを設置し、「Bye Bye コロナ」のCDを流しながらハンドソープ(本体・詰替え5,000セット)を配布し、予防啓発ができた。
47	感染予防対策事業(のぼり旗設置)	感染症の予防啓発のため、市内へのぼり旗を設置する。	R2.7.31 ～ R3.3.31	248,358	248,358	②	手洗い啓発ののぼりを60本購入し、市役所や公民館などの市有施設や駅、スーパーやドラッグストアなどに設置し、市民の意識向上を図ることが出来た。
48	成人式における感染症対策	成人式における感染防止のため、パブリックビューイングを整備し、会場外から式典の様子を観覧できる環境を整備する。また、遠隔地でも視聴できるようYoutubeで配信を行う。	R2.9.24 ～ R3.1.10	513,150	513,150	①	新成人のご家族向けに、式典会場外で式典の様子を観覧することができるサービスを提供し、式典会場における参加者同士の密集・密接を避け実施することができた。 (パブリックビューイング参加者:143名、ライブ配信参加者:約420名)
49	選挙における感染予防対策事業	アルコール消毒液や投票用紙自動交付機を準備することで、安心して投票できる環境を整える。	R2.10.1 ～ R3.3.1	2,735,067	2,735,067	①	マスク3,500枚、消毒液300本等を購入し、全ての投票所において感染症対策をすることができ、感染拡大防止に寄与することができた。
50	飲食店応援クーポン事業	飲食店への経済循環を生み出す起爆剤として飲食店限定のクーポン券を発行する。	R2.9.24 ～ R3.3.31	94,519,727	71,688,245	①	飲食店用クーポン券90,000千円分の発行に併せ、多業種向けの既存館林市金券を同額発行し消費喚起の相乗効果があった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価
 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
51	各種証明書のコンビニ 交付サービス導入事業	コンビニ店舗で各種証明書を入手できるようにすることで、市役所窓口の混雑を解消する。	R3.3.15 ～ R3.3.31	6,545,000	6,545,000	②	3月15日から31日までに住民票写し73件、印鑑登録証明書35件、所得・課税証明書5件の交付実績があり、窓口に来庁せずにコンビニで証明書を取得することで、庁舎の混雑を低減し、感染拡大防止に寄与した。
52	スマートフォンによる 市税納付導入事業	感染拡大防止のため、自宅で市税の納付ができるスマートフォン決済を導入する。	R2.10.13 ～ R3.3.24	770,000	770,000	②	導入したことでスマートフォンによる市税の非接触の納付が増え感染拡大防止に寄与することができた。
53	住民税額試算・申告書 作成サービス導入事業	申告会場へ行くことなく、市ホームページから住民税申告書を作成し、郵送で提出できるサービスを導入し、申告会場の混雑を解消する。	R2.10.1 ～ R3.3.31	330,000	330,000	②	本システム導入により、自宅等で容易に市県民税の申告書の作成が可能となった。今年度課税においては市県民税申告を郵送等で提出した方の約23%がシステムを利用しており、非対面での申告が推進されたことで、感染拡大防止に寄与した。
54	事業継続計画策定支援 事業	大規模災害時等において感染症への対応も考慮した、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために事業者が策定する事業継続計画について、計画支援業務を商工会議所へ委託し、市内事業者への伴奏型支援を行う。また、事業継続計画を策定した市内事業者に対し、奨励金を支給する。	R2.10.1 ～ R3.3.31	40,500,000	40,500,000	①	124件の事業者に奨励金を支給し、事業の継続に寄与した。
55	新しい生活様式対応型 事業者支援事業	感染拡大防止を行う新生活様式に対応した、市内事業者の事業継続と更なる成長に資する設備投資等を支援し、持続的な発展を図る。	R2.10.1 ～ R3.3.31	96,615,000	96,615,000	①	228件の事業者に対し、状況に応じた補助を実施し、事業の継続に寄与した。
56	中小企業者支援対策事 業	国の持続化給付金の対象にならない、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者を支援する。	R2.9.24 ～ R3.2.19	17,643,207	17,643,207	①	35件の中小企業者へ50万円を給付し、事業の継続に寄与した。
57	人材確保支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、企業説明会の中止など求人に関する広報活動に支障を生じている企業の人材確保を支援するため、大手就職情報サイトに求人情報を掲載する場合の経費を補助する(求人情報発信補助)。また、人材採用に係る経費を補助する(人材採用補助)。	R2.10.1 ～ R3.3.31	21,934,000	21,934,000	①	45件の求人情報発信補助及び5件の即戦力人材採用補助を実施し、事業の継続に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価

①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
58	飲食・物産情報発信事業	「Go To トラベルキャンペーン事業」を活用し、市内ホテル・飲食店・旅行代理店で連携して造成するビジネス客向け宿泊プランを周知するチラシを作製する。また、県主催「ストップコロナ！感染症対策認定制度」の認定店や「Go To トラベルキャンペーン 地域クーポン加盟店」などの情報を分かりやすく紹介・マッピングして、ウィズコロナ時代に持続可能なグルメ・物産情報サイトの構築を行い、市内経済の喚起を図る。	R2.12.1 ～ R3.3.31	3,250,000	3,250,000	②	感染症対策を徹底した飲食店を掲載し、影響を受けている地元飲食店のPRを行うことで売上向上に寄与した。
59	畜産農家支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響による外食産業に対する需要減少にともない、牛肉の価格が下落していることから、経営の厳しくなっている畜産業者に給付金を支給し、経営の安定化を図る。	R2.9.24 ～ R2.12.15	2,700,000	2,700,000	①	給付金を交付することで、市内畜産農家27件の経営の安定に寄与した。
60	放課後等児童クラブ支援事業	小学校の臨時休業、分散登校期間中の放課後等児童クラブの特別開所支援及び放課後等児童クラブ利用料の減免を実施する。	R2.4.13 ～ R2.6.12	30,780,500	10,260,500	②	令和2年4/13～6/12(小学校分散登校期間中)午前中からの開所への人件費補助(1477/18支援)を実施し、事業者及び利用者を支援した。
61	中学校特別教室へのエアコン設置	新型コロナウイルス感染症の第2波・第3波に備え、分散授業を可能とするために中学校5校の特別教室にエアコンを設置する。	R2.10.7 ～ R3.3.10	14,410,000	14,410,000	①	中学校5校の特別教室にエアコンを設置することで分散授業が実施でき、感染拡大防止に寄与することができた。
62	小中学校の修学旅行等における感染症対策	小中学校の修学旅行や校外学習等において、移動用バスの増便及び宿泊場所の増室を行うことにより、3密を防止する。	R2.10.1 ～ R3.3.31	3,817,218	3,817,218	①	修学旅行や校外学習におけるバス等を13校で増便し、児童生徒の分散化を図ることで、3密を防ぎ安全安心な事業実施に繋げることができた。
63	ことばの指導教室における感染症対策	第三小学校の通級指導教室「ことばの教室」における感染防止のため、フェイスシールドやマスクなどの感染予防品を常備するとともに、3密を防止するための環境を整備する。	R2.10.1 ～ R3.3.26	462,070	462,070	①	通級指導教室においてマスク120枚、消毒液5本等の感染対策物品を購入し、通学する児童の安全安心な学習環境の確保に資することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果検証

効果は以下の4段階評価
 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった

No	事業名称	事業概要	実施期間	事業費(円)	うち交付金 充当額(円)	効果	事業実績と効果検証
64	避難所の3密対策及び情報収集能力の強化	避難生活の3密対策用品を購入するほか、タブレットや非常用発電機等を活用し情報収集能力を強化するなどして、新たな災害対応スタイルを構築する。	R2.9.29 ～ R3.1.18	6,013,496	6,013,496	②	避難所の感染対策、情報収集に必要な物品(タブレット(10台)、緩衝材(50巻)、使い捨てスリッパ(1,000足)、非常用発電機(60台)等)を購入し、コロナ禍における災害時でも安心な避難所を整える準備が出来た。
65	臨時災害放送局開設事業	避難所の3密を防ぐために在宅避難などの避難先分散を周知する手段として臨時災害放送局開設のための機器を整備する。	R2.12.1 ～ R3.3.26	3,363,800	3,363,800	②	臨時災害放送局用FM放送機材を購入し、大規模災害に備えた情報発信体制の多重化を図った。
66	向井千秋記念子ども科学館利用者のための感染症対策	向井千秋記念子ども科学館に、消毒液やパーテーション等を常備し、来館者の感染予防を徹底する。	R2.5.1 ～ R2.10.28	431,715	216,715	①	非接触型温度計で入館者の検温をするとともに、手指消毒用アルコールを正面入口や各展示室、トイレ出入口に設置し、こまめな手指消毒を促した。その他、定期的に館内展示物や手すり、座席等を消毒することで、感染者を出すことなく運営することができた。
67	放課後等デイサービス事業従事者支援金事業	小学校の休校に伴い負担が増している放課後等デイサービス事業に在籍する従事者に支援金として館林市金券を交付する。	R2.5.25 ～ R3.3.22	602,000	602,000	②	館林市金券1万円分を支給し、負担が増している放課後等デイサービス事業に従事する職員を支援した。
68	インフルエンザ予防接種助成金事業	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行による、患者の重症化や医療機関の混乱を避けるため、妊婦及び生後6か月から小学2年生までの児童のインフルエンザワクチン接種費用の一部を助成する。	R2.10.1 ～ R3.3.10	5,636,560	5,636,560	②	妊婦86件、生後6か月～小学校2年生までの子ども2,687件の助成を行い、経済的負担の軽減を図るとともに、インフルエンザの流行を抑えることができた。
69	修学旅行等キャンセル料補助金	新型コロナウイルスの流行により各中学校で修学旅行等が中止となったことに伴い生じたキャンセル料を全額補助することで保護者負担の軽減を図る。	R2.9.24 ～ R3.2.25	1,853,944	1,853,944	①	中学校5校の修学旅行が中止または延期されたことで生じたキャンセル料を補填し、保護者への経済的支援に資することができた。
70	障がい者施設感染症対策支援事業	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス特別開設への支援	R2.4.1 ～ R3.3.31	41,418	10,418	②	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業所に通う利用者の増加負担分を補助し、利用者負担を軽減した。
合計				984,118,482	756,106,000		